

しまの風

発行所 杵藤農林事務所杵島農業改良普及センター
 佐賀県杵島郡白石町大字東郷2546-2
 TEL0952-84-3625 FAX0952-84-6425
 E-mail : kitounourin@pref.saga.lg.jp
 URL : http://www.pref.saga.lg.jp/list02464.html

令和3年6月
 第53号

21世紀の主役たち

杵島郡白石町
喜多俊輔さん (24歳)
 経営規模
 米麦大豆 17ha、肥育牛 130頭



「牛」と「米麦大豆」の二刀流!!

ドローンを上手に操縦する喜多さん

喜多さんは、就農されて今年で5年目。両親と祖母の5人で肥育牛と米、麦、大豆の栽培に従事されています。

肥育牛は130頭と白石でもトップクラスの飼養規模で、水田の経営面積も現在17haで、年々拡大されています。経営面が一番心がけているのは、忙しい時ほど家族のチームワークが大切であり、上手に役割分担して、作業のロスを少なくすることだ、と語ってくれました。

肥育牛では父の教えの下、主に飼料給与や堆肥運搬に従事されており、肥育牛の状態に合わせた給与が、良い枝肉を生産する重要なポイントだとの考えです。共進会では常に上位に入るなど上物率の高い枝肉を出荷されていることが、その精度の高さを証明しています。

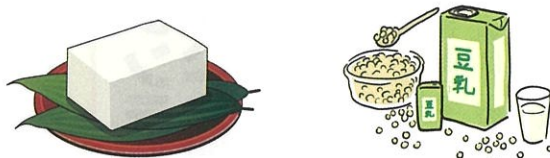
これからも、牛が快適に育つ環境を提供するように心がけていきたいと語られました。

また、チャレンジ精神も旺盛で、地域でもいち早く米麦大豆栽培にドローンによる施肥や防除に取り組まれています。ペタランの祖父からはドローンがうまく活用できているとの評価をもらい、確信につながったと実感されています。これからも研修会を積極的に受講することで、技術研鑽に人一倍取り組み、最先端の生産技術に挑戦していきたいとのこと。

また、所属している農業後継者クラブでは、副会長として活動を支える立場となり、地域や品目の枠を超えた、幅広い交流会等を企画したいの思いをもたれています。

今後の目標は「時代のニーズに応じた農業経営」。喜多家の3代目として祖父と父を超えていきたいと意気込む俊輔さんです。

地域情報コーナー



「佐大H01号」の作付けが行われていた。佐賀大学で育成された品種で、これまで栽培されていた「フクタカ」と比較して、大豆の脂肪酸に含まれているオレイン酸の含有率が高い品種です。加工適性が高く、豆腐や豆乳をはじめ、大豆ミートなどへの活用も期待されています。令和2年度には「高オレイン酸大豆武雄振興会」、令和3年度からは「高オレイン酸大豆栽培研究会」を発足し、地域一体となって安定生産に向けた取り組みが始められています。

新たな大豆産地を目指して



令和4年度 佐賀県農業大学校

学生募集【定員50名】
 水田農業・露地野菜・施設野菜・花き・果樹・畜産

推薦入試試験日
 令和3年10月 8日(金)
 一般入学試験日
 令和3年12月10日(金)
 ◎詳しくは、佐賀県農業大学校
 0952-45-2144 まで

みどり地区TFでは4月15日、4月28日に入学式が開催されました。キユウリで4組4名、トマトで4組5名、いちごで1組1名の方が入学されました。

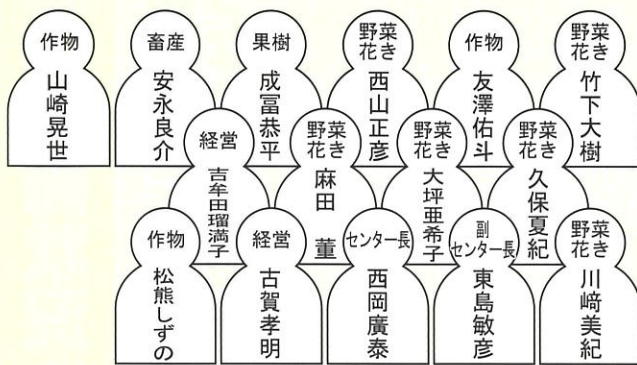
令和5年度の就農に向け4月からしつかりと研修に励まれています。



トレーニングファーム (TF) 入学

令和3年度杵島農業改良普及センターの職員紹介

令和3年4月1日付人事異動により新体制となりました。今年もよろしくお願ひします



お世話になりました

- ◆江口 満 (退職：再任用で中部農林事務所へ)
- ◆高取由佳 (農業技術防除センターへ)
- ◆加茂大知 (農業試験研究センター三瀬分場へ)
- ◆岡 逸平 (農業大学校へ)





**タマネギの拾い上げ機
「ピッカー」でぐんぐん収穫！**

近年、高齢化とともに雇用労力の確保が難しい中、収穫の効率化を図るため2年前よりピッカーの試験を行い、関係機関とともに検討を重ねてきました。その結果、白石町ではピッカーの後ろを鉄コンテナを積載した運搬車で追従する方式が普及しつつあります。フォークリフトを使うことが前提ですが、軽労力であるため面積拡大もしやすくなります。今後、鉄コンテナでの受け入れ体制を検討して、普及を加速していく予定です。



さが園芸888運動

チャレンジ! 活気あふれるさが園芸へ



**いちごトレーニングファーム
1期生いざ出陣!!**

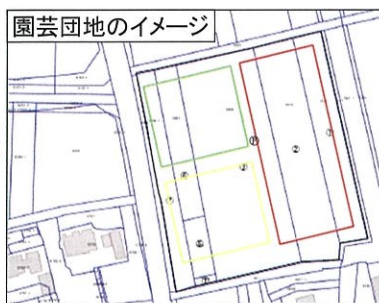
いちごトレーニングファームの研修生4組5名が2年間の研修を終え、修了式が3月25日に行われました。修了式では「先輩農家からのアドバイスをもとに、いちごづくりに励み、地域のリーダーになれるよう頑張っていきたい」と決意を新たにされました。4月から、真新しい自分のハウスで、9月の定植に向けた、元気な苗づくりに全集中で頑張られています。



「シンテッポウユリ」の拡大に向けて

水田で作れる新たな露地品目として「シンテッポウユリ」の作付推進に取り組んでいます。「シンテッポウユリ」は、特別な資材等は必要なく手軽に始めることができ、夏場の所得確保が可能です。

今年度は、管内で11戸の生産者が栽培にチャレンジされています。4月下旬に定植を行い、現在順調に生育しています。白くて大輪のユリ生産を目標に栽培に取り組んでいきます。



園芸団地のイメージ

熟練者と新規者を つなぐ園芸団地

大町町では、さが園芸888推進運動の一環としてキュウリの園芸団地が計画され、現在基盤整備が行われています。面積は1.3haで、10月からの営農開始を予定されています。

これから、この団地を中心に熟練の生産者と新規就農者のつながりを強め、新規者が夢をもって「キュウリづくり」に取り組める環境づくりを、地域一丸となつて取り組んでいきます。

情報提供

園芸生産888億円推進運動の展開状況

令和3年度の普及活動方針

杵島農業改良普及センター

センター長 西岡 廣泰



杵島地区の農業を元気にしていくためには、特色でもある園芸振興に、もつともつと力を注いでいかなければならないと考えています。佐賀県における農業産出額は今から37年前の昭和59年にピークを迎えその後漸減しています。度重なる気象災害に遭った令和元年度は、残念ながら過去最低(1,135億円)となりました。杵島管内もこの間約30%減少しています。ただ、園芸品目だけを見てみると逆に25%向上しており、杵島管内の強みを表しているといえます。この強みに更なる磨きをかけようとして、令和元年度から「さが園芸888運動」を展開しています。

普及センターは、産出額の向上につながるよう次に掲げる柱(目標)を掲げ、生産者を支援していきたいと考えています。

- ① タマネギやレンコン等の露地野菜は適正な規模拡大を推進します。
 - ② 中山間地における露地野菜の復活と新規品目導入を推進します。
 - ③ 施設園芸団地により新たな担い手を創出します。
 - ④ 世界に誇れる、農業界の一億円プレーヤーを育成します。
 - ⑤ ミカンの根域制限栽培など新技術を普及し地域を活性化します。
- さあみんなで、未来のかたちを描いてみましょう。

就農希望者 必見!! ワンストップ就農相談会始めました。

杵島地区青年農業者育成対策協議会では、6月から武雄市、江北町、大町町、白石町において就農を希望される方を対象にしたワンストップ就農相談会を開始します。

就農を希望する方は、これまで関係する複数の機関へ相談する必要があったのですが、効率的かつ効果的に支援するため、相談を受ける関係者が一堂に会する「ワンストップ」としたものです。

申し込みは簡単。事前に就農予定の市役所・役場の農政関係課(表参照)に予約を入れるだけ。
最善のスタッフに集まってもらい、あなたのお越しをお待ちしています。

【支援の内容】

就農に必要な知識・資金、就農計画(国及び県の支援策、研修、農地、国や県の施設・農業機械・ハウス整備のための補助事業の紹介)など就農に必要な情報を提供します。

【スタッフ】

- ・市役所、役場 ・市町農業委員会 ・JA
- ・杵藤農林事務所 ・杵島農業改良普及センター
- ・融資機関

※必要に応じて随時参集します。

就農希望地	開催日	申込先	※事前予約が必要です。 (1週間前締切)
武雄市	第2水曜日	武雄市役所 農林課	0952-23-9335
大町町	第3水曜日午前	大町町役場 農林建設課	0952-82-3151
江北町	第3水曜日午後	江北町役場 地域振興課	0952-86-5615
白石町	第4木曜日	白石町役場 農業振興課	0952-84-7121

開催場所は、各市役所、役場です。

【問い合わせ先】

杵島農業改良普及センター 0952-84-3625
古賀、吉牟田まで